

2025年10月期 経営近況報告会

2026年1月29日

パーク24株式会社

代表取締役社長CEO 西川 光一



PARK24 GROUP

東証プライム市場 4666

Ticker Symbol PKCOY

I. 2025年10月期 振り返り

II. 2026年10月期 見通し

III. タイムズカー 将来像

IV. 社会貢献活動

売上高は増収で過去最高・計画超過、各段階利益は減益・計画未達

(下段：前期比・計画差)

	`23/10月期	`24/10月期	`25/10月期			
	実績	実績	実績	当初計画*		
売上高	3,301 (113.7%)	3,709 (112.4%)	4,061 (109.5%)	4,040 +21	売上高	P.4
経常利益	276 (163.1%)	354 (128.1%)	341 (96.4%)	355 ▲14	経常利益	P.5
親会社株主に帰属する 当期純利益	175 (708.2%)	186 (106.2%)	159 (85.5%)	215 ▲56	親会社株主に帰属する当期純利益	P.6

サービスネットワークの拡大等で
順調な推移

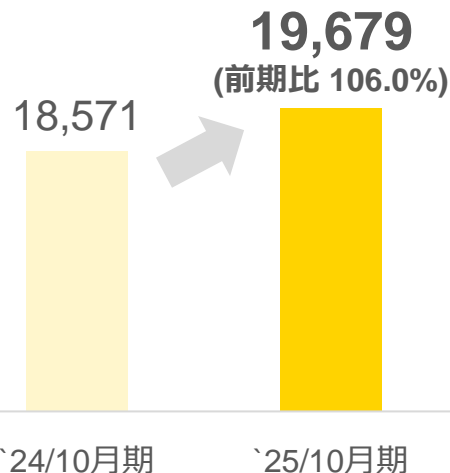
モビリティ事業のサービス稼働軟調に
加え、成長投資増と費用拡大

経常利益の下振れに加え、
英国関連の特別損失あり

各事業でネットワークの拡大を加速

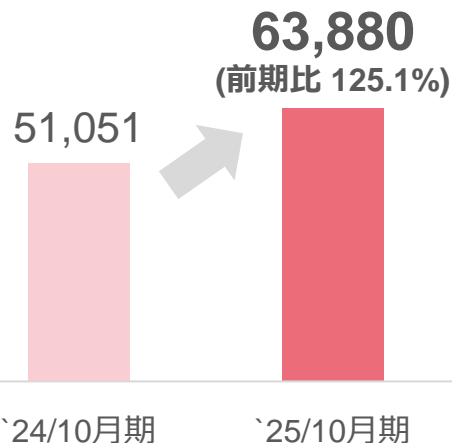
駐車場事業国内

タイムズパーキング
+ 1,108件



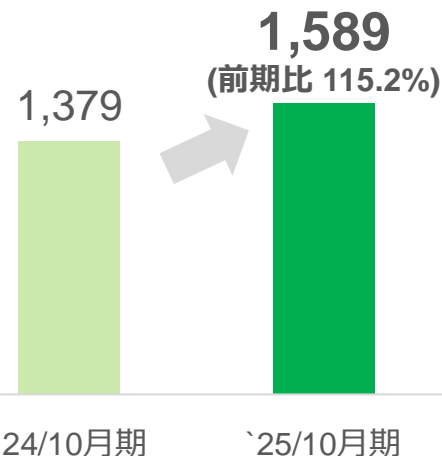
モビリティ事業

タイムズカー専用(カーシェア)
+ 12,829台



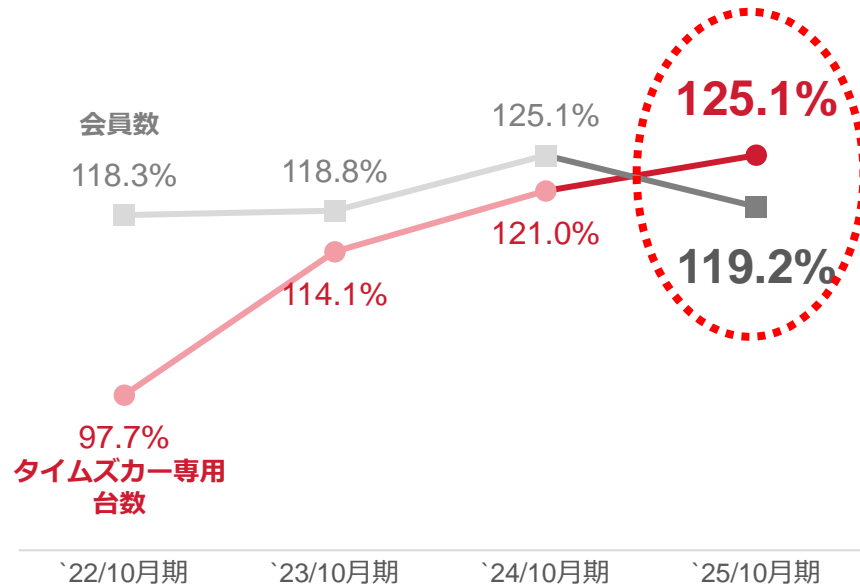
駐車場事業海外

各国版タイムズパーキング
+ 210件

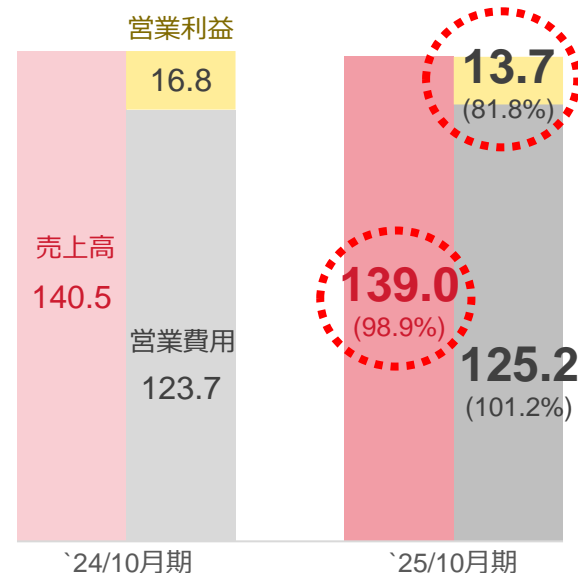


増車に注力するなか、稼働の向上施策(会員獲得等)のリソースが不足 台・月当たり売上高・営業利益が減少

タイムズカー専用台数・会員数 前期比



タイムズカー専用 台・月当たり損益 (千円)



英国子会社の年金基金が解散したことに伴う損失33億円 英国事業にかかる契約関連無形資産の減損損失24億円

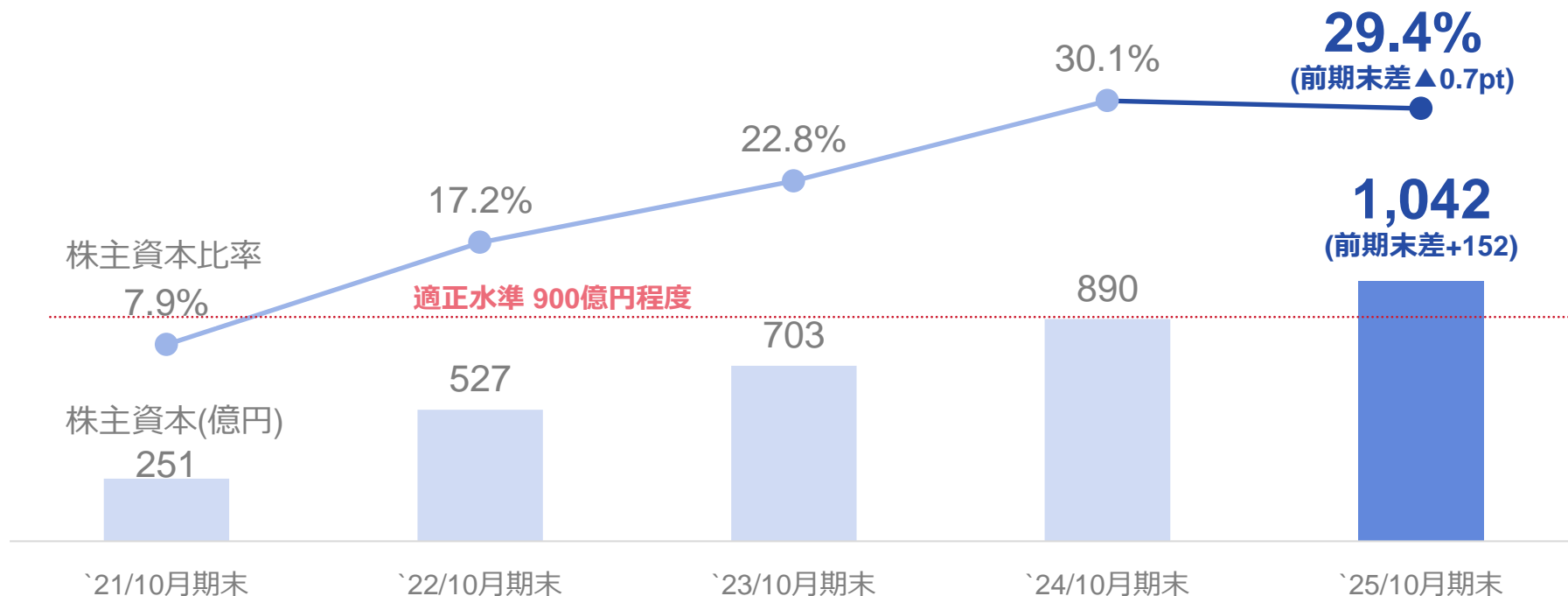
英国子会社 退職給付制度終了損：33億円

- ✓ `25年4月、英国子会社の確定給付型企业年金基金が解散（退職給付制度終了、年金基金による決議）
- ✓ 今後、年金基金に係る追加拠出等の費用負担がなくなると同時に、当社グループに係る年金資産の運用リスクを遮断

英国 契約関連無形資産 減損損失：24億円

- ✓ 契約関連無形資産はM&A時点におけるリース契約駐車場の超過収益力を計上したもの
- ✓ 計上単位である地域ごとの収益性を改めて評価した結果、一部地域において収益性が低いと判断し、帳簿価額を回収可能価額まで減額

利益の積み上げにより財務は健全化、財務イベントも概ね完了
配当は当初予想通り 1株当たり30円(配当性向32.2%・DOE5.3%)



I. 2025年10月期 振り返り

II. 2026年10月期 見通し

III. タイムズカー 将来像

IV. 社会貢献活動

中長期ビジョン実現に向けた、2027年10月期 中期経営計画を着実に遂行

グループ理念

時代に応える、時代を先取る快適さを実現する。

2035年 中長期ビジョン

モビリティサービスプラットフォーム
への進化

2030年 テーマ

4つのネットワークの拡大・進化・融合

2027年10月期 中期経営計画

- ▶ `25~`27/10月期は中長期ビジョンの実現に向けた準備期間の位置付け
- ▶ サービスの拡大・進化・融合にかかる投資を積極的に行う

中長期的な成長に向け、3つの方針を掲げ、各施策に取り組む

2026年10月期 方針

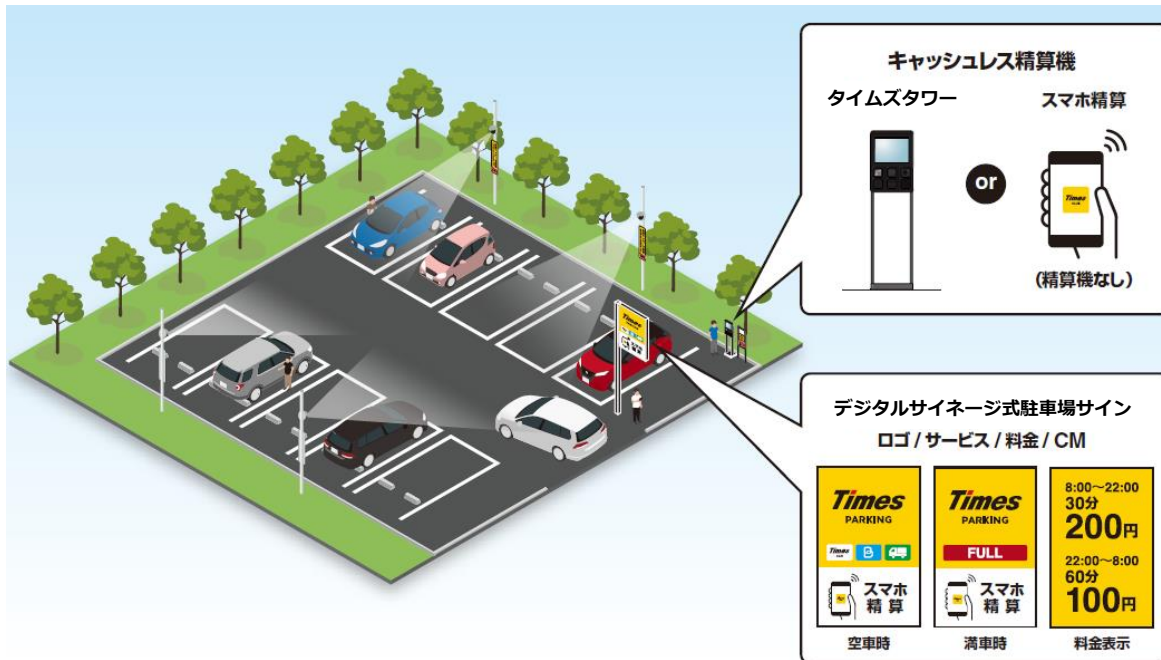
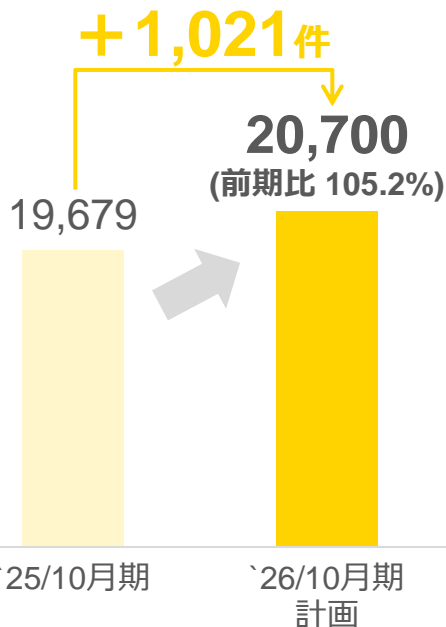
海外事業
振り返り

モビリティ事業
成長軌道への回帰

経営資源
選択と集中

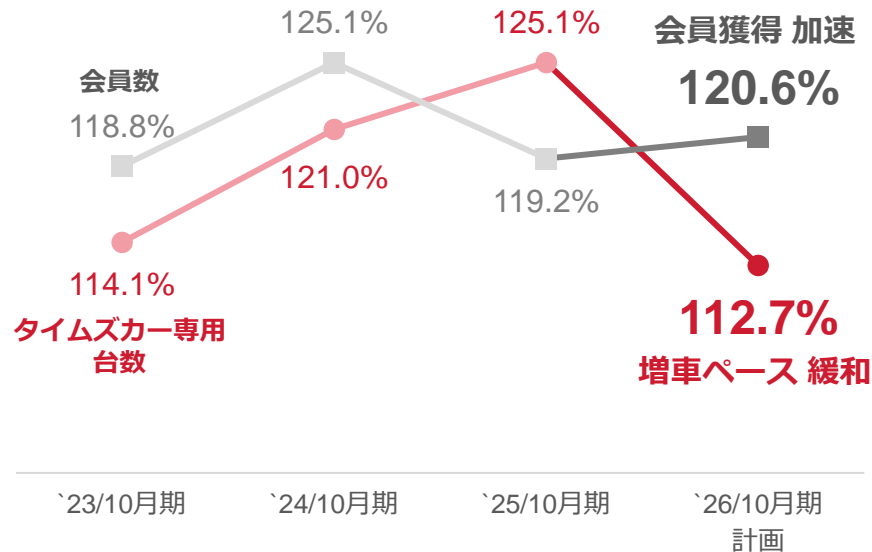
ネットワークの拡大を継続 タイムスタワーの設置・カメラ式駐車場への転換等、サービス進化も加速

タイムズパーキング件数 (件)

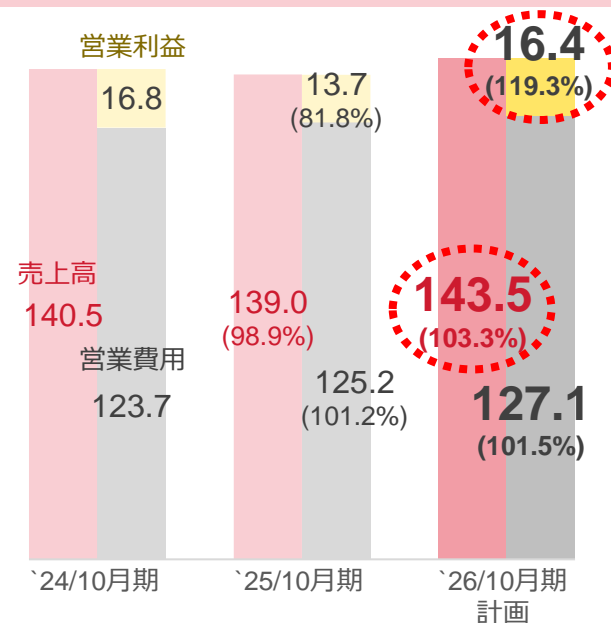


増車ペースを緩和し、会員獲得を加速 新規開発の精度向上等も進め、台・月当たり売上高・営業利益向上を目指す

タイムズカー専用台数・会員数 前期比

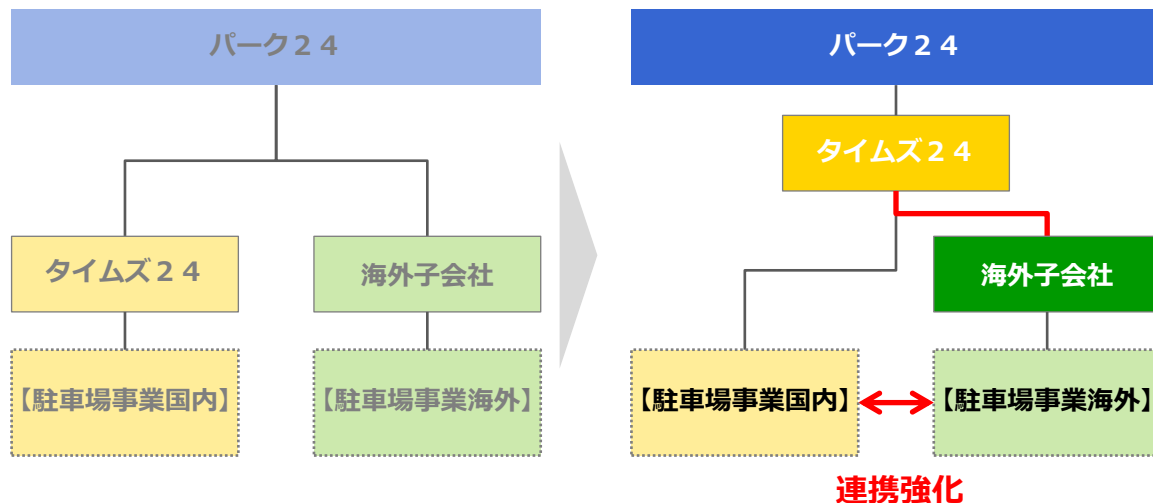


タイムズカー専用 台・月当たり損益 (千円)

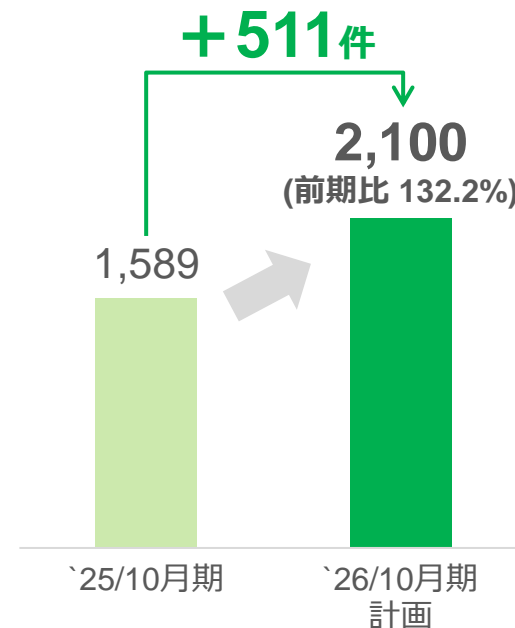


組織改編により駐車場事業国内との連携強化、新規開発を加速
“振り返り”として、株主価値の最大化を目指し、今後の事業の在り方を再定義

駐車場事業海外にかかる組織改編



各国版タイムズパーキング件数 (件)



他ブランドの駐車場・モビリティサービスへのサービスインフラ・システム提供を本格始動 中長期ビジョン「モビリティサービスプラットフォームへの進化」の実現を目指す

TPL駐車場 導入事例

▼天保山駐車場 (海遊館・大阪)



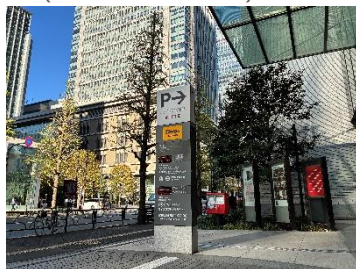
▼京成上野駅駐車場
(京成不動産・東京)



▼神社前駐車場 (自然公園財団・神奈川)



▼J Pタワー・KITTE駐車場
(J Pグループ・東京)



TPLモビリティ 導入事例

▼駅レンタカー smart west
(JR西日本レンタカー&リース)

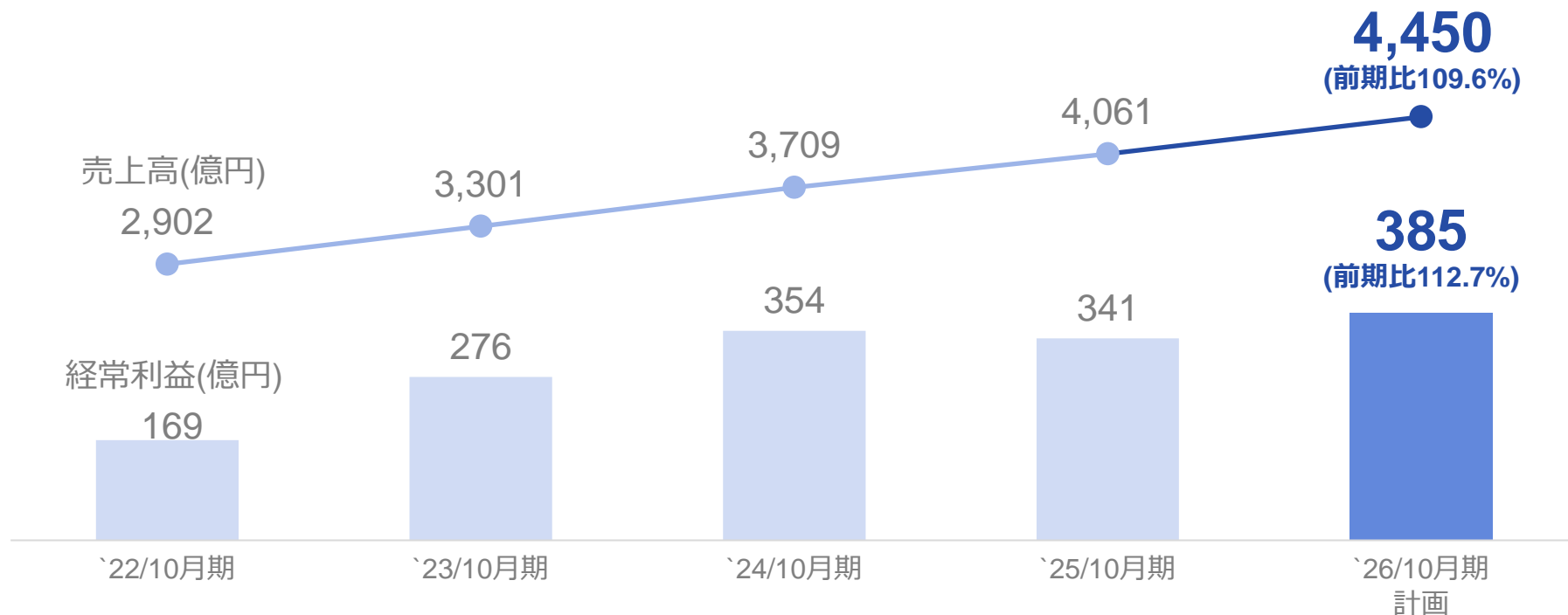


▼はこねカーシェア
(箱根DMO)

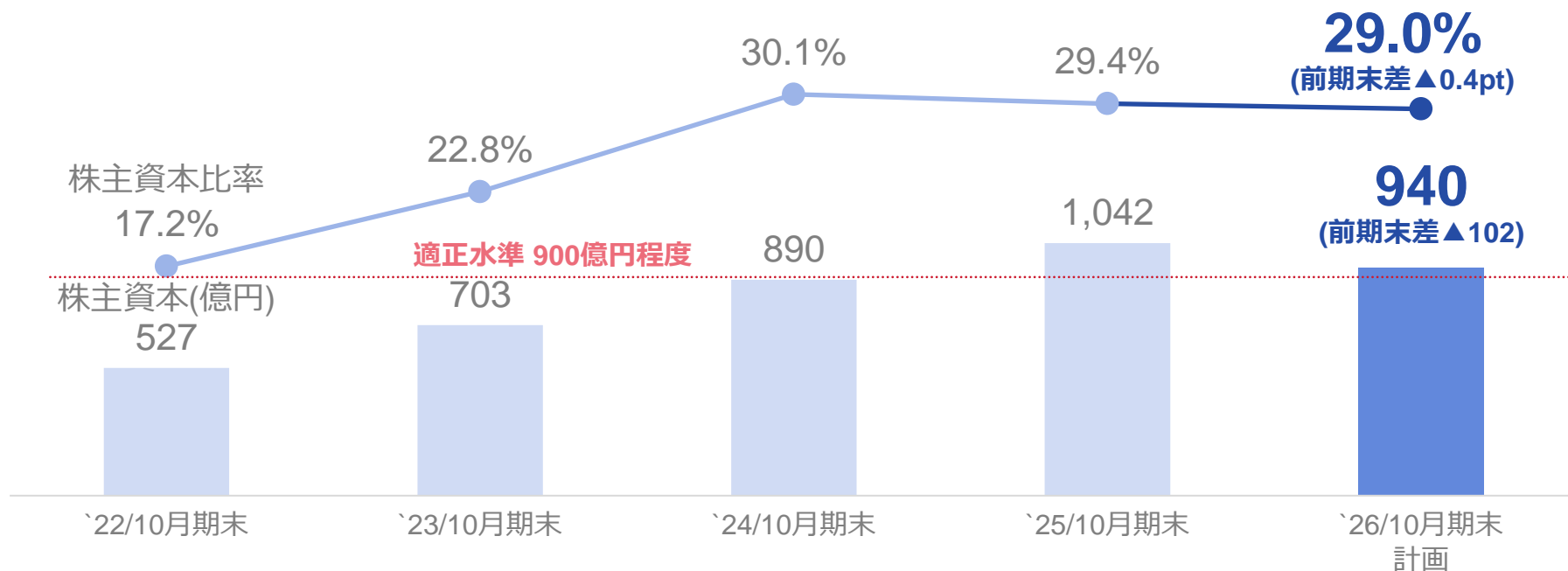


▲富士急カーシェア
(富士急グループ)

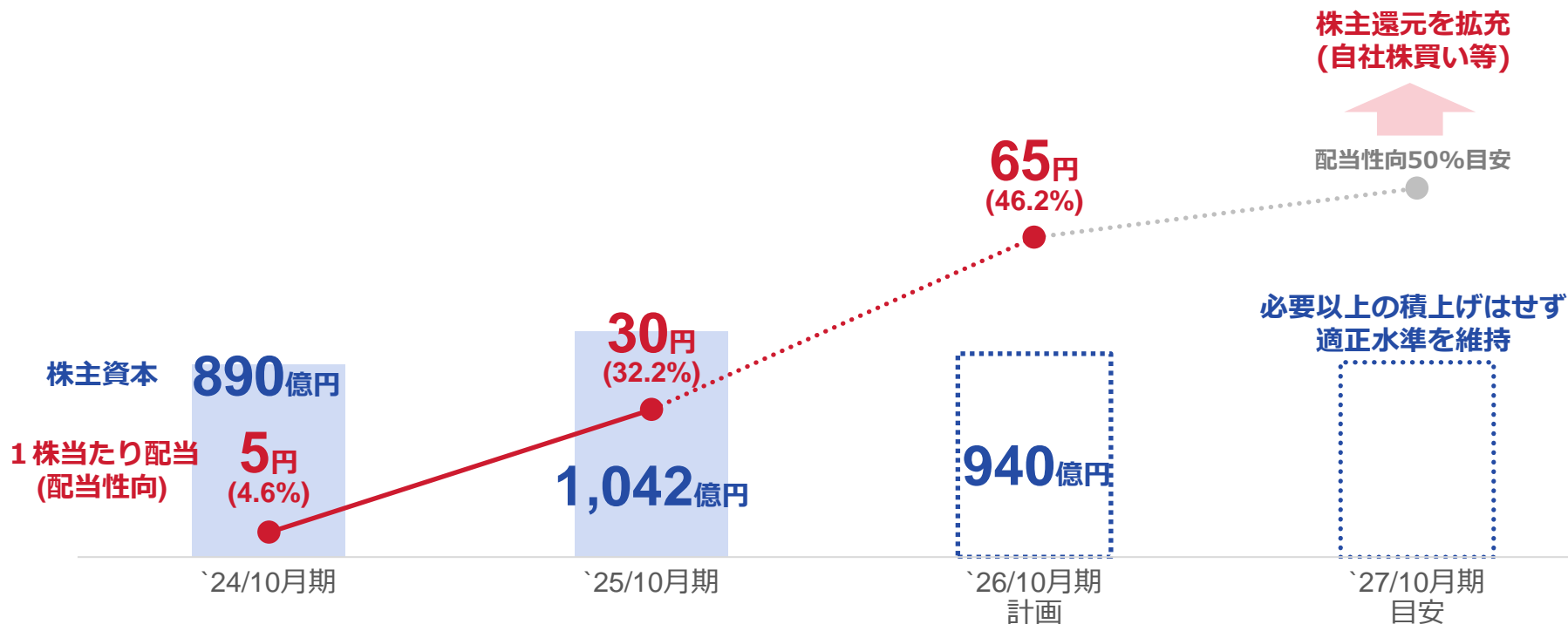
売上高・経常利益ともに過去最高を目指す



株主資本は適正水準900億円程度を維持する見込み
配当は1株当たり65円(配当性向46.2%・DOE11.2%)を予想



株主資本は適正水準を維持、余剰資金は株主還元を中心に検討
将来的に、総還元性向で100%近い水準を目指す



- I. 2025年10月期 振り返り
- II. 2026年10月期 見通し
- III. タイムズカー 将来像
- IV. 社会貢献活動

ビジョン

カーシェアを第4の交通インフラに

(電車・バス・タクシー・カーシェア)

規模の拡大

いつでも・どこでも

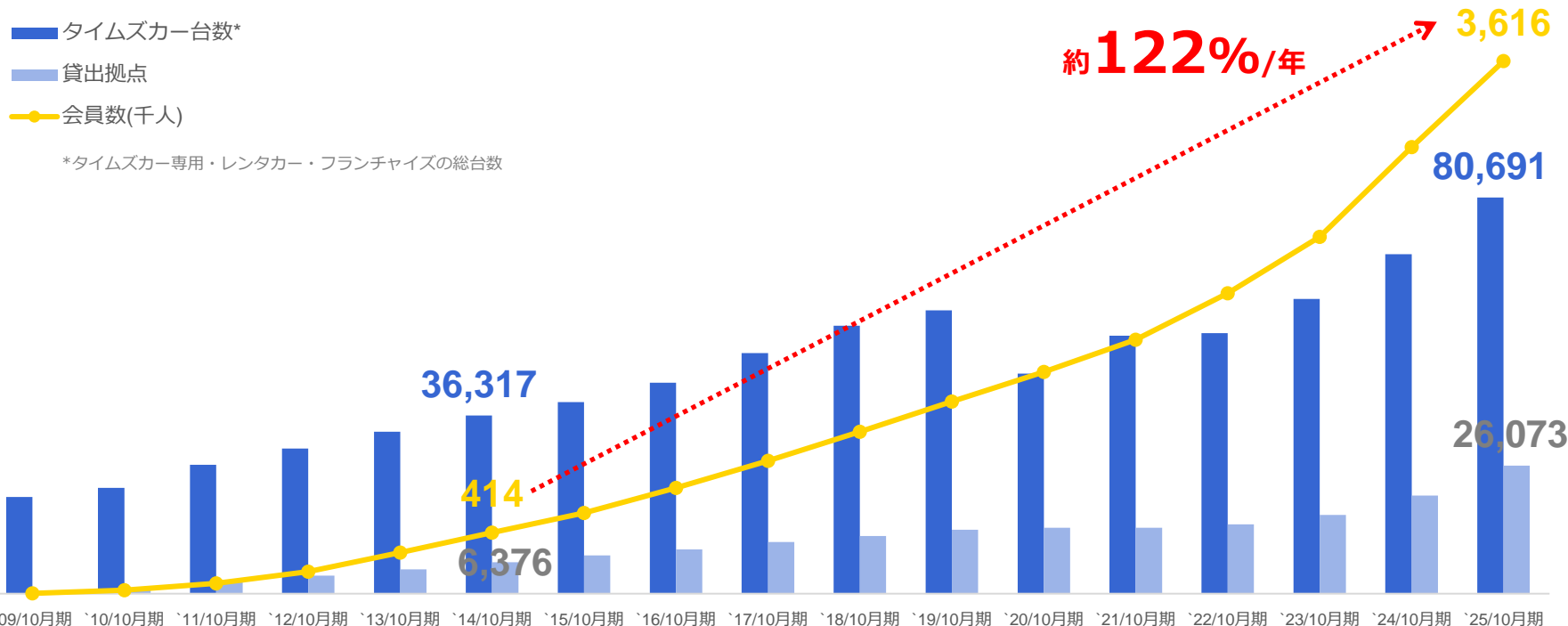
利便性の追求

ストレスなく

価格戦略

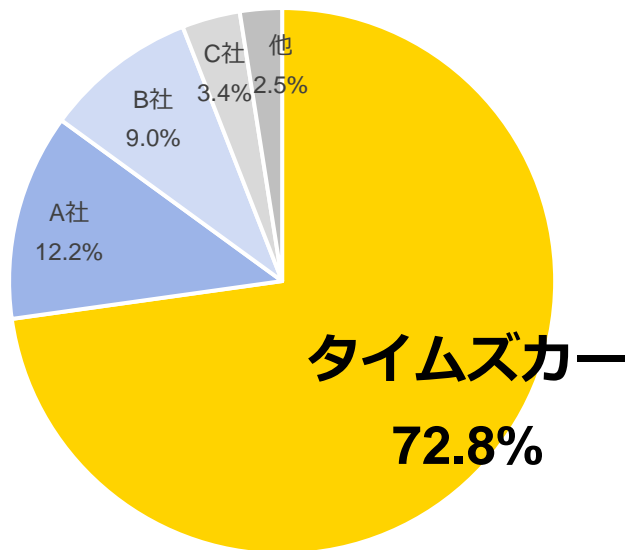
安心・分かりやすい価格で

2009年の事業開始以降、着実に成長 2014年10月期のカーシェア事業黒字化から、会員数は約122%/年成長

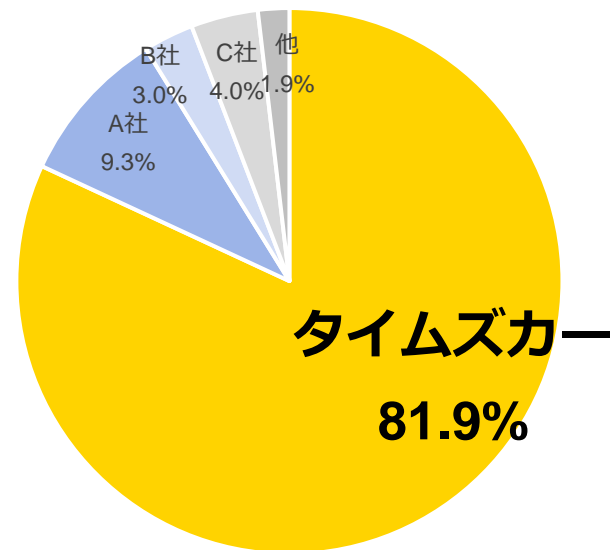


日本のカーシェア市場において、会員数・台数ともに大きなシェアを保有

会員数シェア



台数シェア

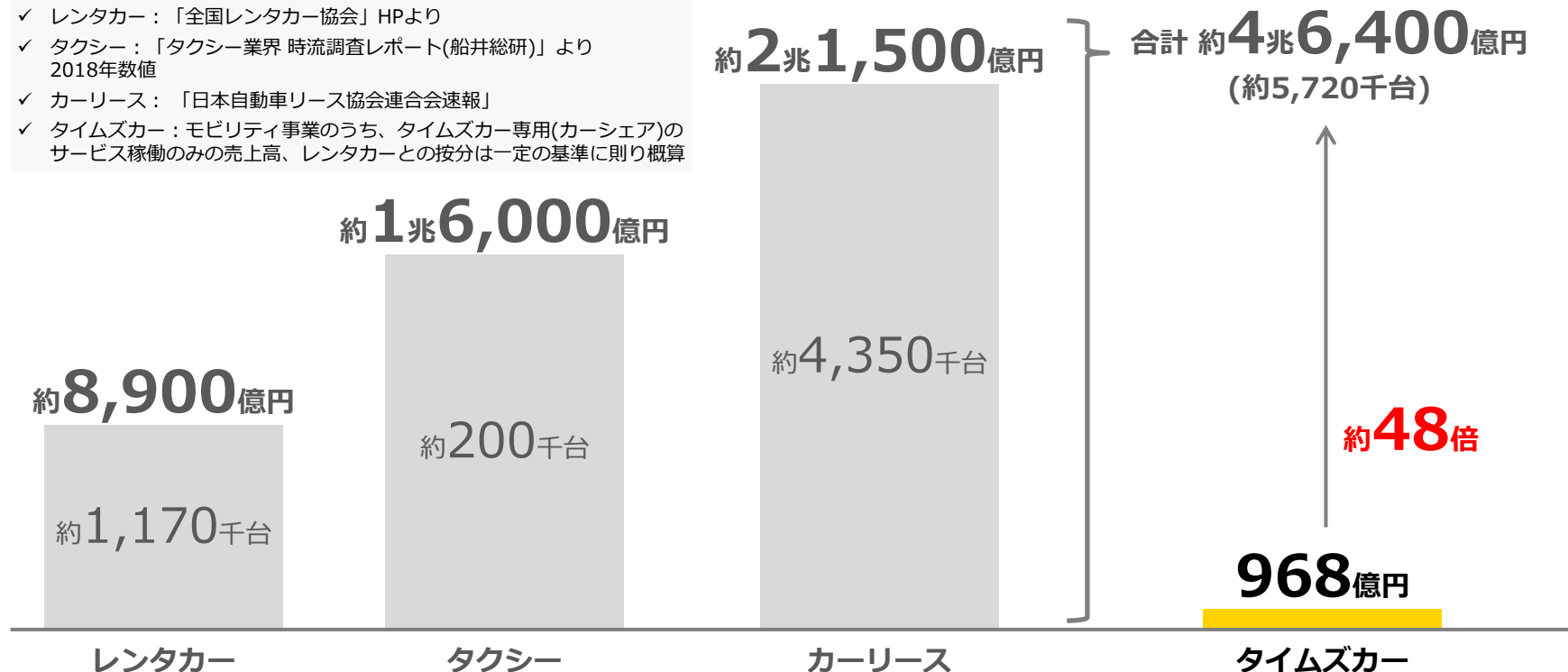


※交通エコロジー・モビリティ財団「全国のカーシェアリング事例一覧～2025年3月一斉調査版～」より当社作成
「タイムズカー」はタイムズカー専用(カーシェア)のみの台数

類似サービスの市場規模は非常に大きく、タイムズカー拡大の余地は大きい

【出典等】

- ✓ レンタカー：「全国レンタカー協会」HPより
- ✓ タクシー：「タクシー業界 時流調査レポート(船井総研)」より
2018年数値
- ✓ カーリース：「日本自動車リース協会連合会速報」
- ✓ タイムズカー：モビリティ事業のうち、タイムズカー専用(カーシェア)の
サービス稼働のみの売上高、レンタカーとの按分は一定の基準に則り概算



当面の間、タイムズカー専用(カーシェア)20万台を目指し規模拡大を継続
規模拡大にあたっては、台・月当たり営業利益を重視し適切なペースで推進

タイムズカー専用(`25/10月期末)

63,880台



ターゲット

200,000台

- I. 2025年10月期 振り返り
- II. 2026年10月期 見通し
- III. タイムズカー 将来像
- IV. 社会貢献活動**

毎年8月9日を中心に、路上駐車ゼロに向けた啓発活動を実施 さらに、8月9日の売上高の一部を交通遺児等育成基金へ寄付

パークの日

「1年のうち、たった1日でもいいから路上駐車が引き起こす様々な社会問題について考えてほしい」という願いを込めて、8月9日を「駐車場（パーク）の日」として1998年に記念日登録

「路上駐車が引き起こす問題」について学ぶ 交通安全講習の実施

▼保育施設

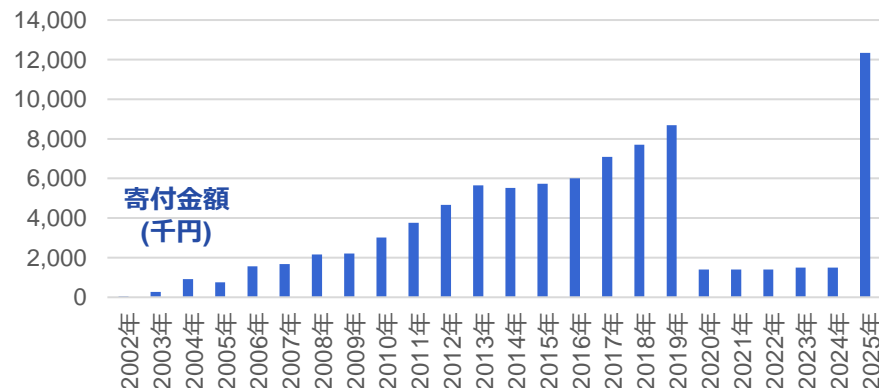


▼パーク24柔道教室



交通遺児等育成基金へ寄付

2002年～2025年 累計**87**百万円



2025年ブダペスト世界柔道選手権大会

▼男子60kg級 優勝：永山



▼男子66kg級 優勝：武岡、三位：阿部(一)



▼男子90kg級 準優勝：田嶋



▼女子52kg級 優勝：阿部(詩)



第75回 全日本実業柔道団体対抗大会

▼男子第一部 準優勝



▼男子第二部 優勝



免責事項

本資料に記載されている業績目標・戦略並びにその他の記述のうち過去の事実でないものは、いずれも当社が現在入手可能な情報を基にした見通しとなります。

実際の業績等は、経営環境の変動やその他の不確実な要因により、これら見通しと大きく異なる場合があります。